

ひろまちだより

Hiromachi Ryokuchi Park in City of Kamakura



contents

特集	キアゲハ
連載	樹木区日誌
催事	春のイベント etc
ほか	コロナ対応

むくむく大きくなっています



- ①湿地脇の草むらにひっそり咲いていたボケの花
- ②畔つけの作業中にあらわれたナナホシテントウ
- ③鉄バクテリアで赤みがかった水路にひそむホトケドジョウ
- ④林の中に咲くタチツボスミレ



セリ科の植物を食べて育つキアゲハの幼虫

ひろまちだより 2021年3月号

発行 鎌倉広町パートナーズ

鎌倉広町緑地管理事務所

鎌倉市津 1133 TEL : 0467-32-5112

<http://www.kamakurahiromachi.com/>



デザイン・編集 向田智也



湿地で休むキアゲハ



トゲのある言葉といますが、広町緑地でも時々トゲのある樹木に出会います。タラノキやハリギリもありますが、カラスザンショウの可能性が高いでしょう。同じミカン科のサンショウと比べ10倍くらい大きい葉が特徴で、日当たりの良い所を好み、成長すると10mを超える高さに達します。広町緑地の田んぼや畑の周りはセリが多くキアゲハをよく見かけますが、カラスザンショウはナミアゲハなどの食草です。環境とチョウの違いを観察してみると楽しいかもしれません。



葉はサンショウに比べてはるかに大きい



葉に産みつけられたアゲハ類の卵



セリ科の植物を食べて育つキアゲハの幼虫

Larva of Old World Swallowtail that grows on Water dropwort

早春から初秋にかけて、御所谷周辺でよく見られるチョウのひとつがキアゲハです。市街地に多いナミアゲハにくらべ、キアゲハは平地から高山の開けた草原を好み、幼虫はセリ科の植物を食べて育ちます。鎌倉広町緑地では、セリ科の植物が多い湿地の周辺や、ニンジン栽培している畑の近くなどを飛びまわっています。



セリに産みつけられた薄黄色の卵

よく似たナミアゲハとなにがちがう？

キアゲハは「黄揚羽」の名の通り、よく似たナミアゲハより黄色みがやや強く、翅の付け根の模様に違いがあります。飛んでいると模様で見分けることは難しいですが、広町緑地ではナミアゲハの食草となるミカン類の樹木が限られた場所しかないため、周辺の環境でだいたいの予測をつけることができます。

塗りつぶしたような模様



キアゲハ

縞模様



ナミアゲハ

イベント情報 20年度は新型コロナ感染防止により多くのイベントを中止しました。21年度は新たなメニューを加えて各種イベントを実施する予定です。詳細は別紙「広町緑地のイベント一覧（配布チラシ）」をご覧ください。4月には10日(土)に「早春の植物観察(有料)」、25日(日)「広町の野草でクッキング(有料・定員8名)」、5月には9日(日)「大桐・藤の鑑賞会(有料)」、日時未定ですが「豆腐作り教室(有料・定員あり)」を予定しています。



広町の初夏を彩る大桐の花

管理事務所よりお知らせ 新型コロナ感染防止のため、園内での多人数の飲食はご遠慮いただき、引き続き咳エチケット、マスクの着用をお願いいたします。